

## 2013年度 事業報告書

2013年4月1日から2014年3月31日まで

特定非営利活動法人てのひら・人身売買に立ち向かう会

## 1. 事業の成果

## (1) 人身売買およびDV被害の当事者への支援事業

日本語読み書き教室プロジェクトの基盤強化を行う年となった。基盤とは、①年間2クール分の財源、②安全な場所、③実施体制(日本語講師、子どもサポーター、実施責任者)の3つである。日本語読み書き教室の運営に必要な資金、場、そして人が安定的に確保できるかということのために、さまざまな取り組みを組織全体で実施した一年であった。また、この教室の受益者を、シェルター等を退所した女性たちで地域に根を下ろし、日本で生きていこうとしている人たちとはっきりと定めたことで、一昨年度から関わりを持つことになった東京都内の各区市町村の福祉事務所等で女性相談に従事する相談員から、母子生活施設(いわゆる母子寮)から参加者を紹介されたこと等、地域とのつながりも生まれた。平均的な参加が後期は3~4名で決して多くはないが、当法人のできるサイズとしては十分な範囲で日本語クラスが広まったことは大きな成果であると思う。

(当事業は平成25年度東京ウィメンズプラザDV防止等民間活動助成事業対象事業からの助成を頂きました)

## (2) 人身売買およびDVについての啓発事業

「TJCセルフポートレイト・ワークショップ・プロジェクト」を本格化させた。日本での移住労働を経験したタイ人の母親を持つ子どもたち(TJC=タイ・ジャパニーズ・チルドレン)に向け、写真とコラージュ技法を用いた自画像を作るワークショップを行った。TJCが自分自身と出会い直すアートワークを通じて自己評価を高め、その個性を伸びやかに育てて行くことをサポートすることを目的に、企画・実施した。タイでのワークショップにとどまらずアートワークを通じて日本の大学生との交流が数回に渡って実現できたことで、TJCのエンパワーメントに良い影響があったと共に日本の大学生がTJCの存在を知る機会ともなった。

(当事業は認定NPO法人まちぼっと様の草の根市民基金「ぐらん」、株式会社シンクネットプロ様からの助成を頂きました)

また、啓発の一環として、季刊(4月、7月、10月、1月)のニューズレター「てのあと」を毎号500部発行し、会員・寄付者・関係機関に送付した。ホームページ「Think Trafficking Project」やブログ「てのろぐ」、インターネット募金サイト「イーココロ」や「gooddo」、TwitterやFacebookによる情報発信も毎月定期的に行うことができた。

## 2. 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
人身売買およびDV被害の当事者への支援事業	<p>外国籍女性が、民間女性シェルターを退所後、生活の中で使える日本語の読み書きを学ぶ機会と能力強化の機会を提供する。</p> <p>DVや人身売買被害に遭った外国籍女性たちで、子どもを育て、日本に定住することをめざす女性たちに、生活や就労の場で活用できる日本語の読み書きと会話を学ぶ機会を提供する。</p> <p>また、教室の間、母親を待つ子どもたちの世話し、遊ぶことで、子どもたちの心身のケアも行った。その日の子ども的人数に応じて1~2名の子どもサポーターが、クラス近辺の児童館で子どもの世話をした。</p>	<p>(1) 日本語クラス(前期) 全12回 平成25年5月から8月まで 毎週土曜日 13時半~15時半</p> <p>(2) 日本語クラス(後期) 全12回 平成25年10月から平成26年2月まで 毎週土曜日 13時半~15時半</p>	<p>東京都新宿区</p> <p>※前期と後期で場所が異なったが、当面後期で利用した福祉施設にて今後も利用を続けていく(予定)。</p>	<p>(1) コディネーター 1名</p> <p>(2) 日本語講師 6名</p> <p>(3) 実施責任者 5名</p> <p>(4) 子どもサポーター 3名(なお、実施責任者と子どもサポーターは兼任もした)</p>	<p>DVや人身売買の被害に遭った都内在住の外国籍女性</p> <p>前期3名 (延べ参加者数: 21名・子ども2名)</p> <p>後期5名 (延べ参加者数: 38名・子ども12名)</p>	233千円

人身売買およびDVに関する啓発事業	TJCセルフポートレート・ワークショップ・プロジェクトを実施。 北タイで暮らすTJC＝タイ・ジャパニーズ・チルドレン（母親が日本での移住労働経験を持つ）に向けて、写真とコラージュ技法を用いたワークショップを企画。TJCのエンパワメントを目指しながら、アイデンティティの確立をサポートする内容のワークショップの第1回目を、5月にTJCセンターにて行なった。 7月には、神田外語大学のタイ語授業にてTJCのネットワークを学生に紹介。TJCに向けて手紙を作成してもらった。 9月に、桜美林大学のタイ語授業にてTJCのネットワークを学生に紹介。TJCに向けて質問メッセージを作成してもらった。 10月にTJCセンターにて第2回目ワークショップを実施。日本の学生が書いた手紙やメッセージをTJCに渡し、今度は新しい日本の友だちに向けてのセルフポートレートを作るワークショップを実施。 12月に桜美林大学にてTJCの2枚目のネットワークを紹介。それに応え、学生たちにTJCに向けた新年メッセージを作成してもらった。	4月 国内にて準備 5月10日 チェンライTJCセンターにて準備打合せ 5月11日 ワークショップ①実施 7月 神田外語大学にてワークショップ 9月 桜美林大学にてワークショップ 10月5日 チェンライTJCセンターにて準備打合せ 10月6日 ワークショップ②実施 12月 桜美林大学にてワークショップ 3月 TJCセンターにて桜美林学生からのメッセージをTJCに紹介。（センター如田さんに依頼）	東京都 タイ・チェンライ県 千葉県千葉市 東京都町田市 タイ・チェンライ県 東京都町田市 タイ・チェンライ県	ワークショップファシリテーター：1名 ワークショップアシスタント・記録：1名 企画サポート：1名 会計担当：1名 日本コーディネーター：1名 タイコーディネーター：1名	北タイ在住のTJC（タイ・ジャパニーズ・チルドレン） 16名	392千円
-------------------	--	--	--	---	-----------------------------------	-------

(2) 会議（これらの会議以外にも日本語クラス連絡会（年4回）、広報打合せや会計担当打合せ等を随時行った）

会議名	主な会議内容	実施日時	実施場所	参加者
第1回理事会	2013年度の事業計画の詰め	2013年4月20日（土）	Latitude☆P	6名
第2回理事会	各事業と広報について検討	2013年5月18日（土）	Latitude☆P	5名
年次通常総会	事業報告・決算の承認、他	2013年6月2日（日）	Latitude☆P	10名
第3回理事会	収入拡充について集中検討	2013年8月10日（土）	Latitude☆P	7名
第4回理事会	（緊急開催）予算確保について	2013年8月30日（土）	かがやき会会議室	5名
第5回理事会	事業進捗と予算管理の確認	2013年10月19日（土）	Latitude☆P	5名
第6回理事会	認定NPO法人について検討	2013年12月15日（土）	かがやき会会議室	6名
メンバー合宿	次年度に向けての意識合わせ	2014年1月11日（土）-12日（日）	上郷森の家（横浜）	7名
第7回理事会	新たな取り組みについて	2014年2月15日（土）	かがやき会会議室	6名
第8回理事会	現状の課題を真剣に考える	2014年3月8日（日）	JICA市ヶ谷会議室	5名